

広島商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	情報演習
科目基礎情報						
科目番号	1913001		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	新・明解C言語					
担当教員	成清 勝博					
到達目標						
(1) コンピュータの基本操作ができる。 (2) プログラムの作り方、動作の仕組みを理解する。 (3) C言語で基本的なプログラムが書ける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	コンピュータの基本的な構成要素と基本操作について理解し、説明することができる。		コンピュータの基本操作について理解できる。		コンピュータの基本操作について理解できない。	
評価項目2	コンピュータのプログラミングの手順とその仕組みを理解し、説明することができる。		コンピュータを使用したプログラミングの手順を理解できる。		コンピュータを使用したプログラミングの手順を理解できない。。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	C言語によるプログラミングを通して、情報処理に関わる基礎技術を習得し、データ処理やプレゼンテーションに活用できる能力を身につける。 演習を通じて、2年生以降の授業・実験実習で必要となるC言語の基礎を学修する。					
授業の進め方・方法	課題形式で授業を行う。与えられた課題に対して、プログラムを暗記するのではなく、自ら課題を理解しそれを解決するためのプログラムを考える。また、プログラミング学習は、技能・知識の積み上げの内容となるので、学習内容の確認及び内容の関連性を学ぶ必要がある。					
注意点	(1) 授業の理解を進めるため、授業で提示された学習内容等について予習を行う。 (2) 前の時間までの授業内容を理解するために復習を行い授業に望む。 (3) 課題は必ず期限内に提出すること。 (4) 学習内容についてわからないことがあれば、積極的に質問すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	コンピュータの基礎操作 その1		コンピュータの電源のオン/オフ、ログイン/ログアウト、及び キーボードを使ってコンピュータに情報を入力することができる	
		2週	コンピュータの基礎操作 その2		コンピュータの中のファイル/フォルダを操作することができる	
		3週	C言語プログラミングの基本 その1		C言語の開発環境ソフトを利用し、プログラムの入力と保存、コンパイル、実行ができる。	
		4週	C言語プログラミングの基本 その2		コンパイル時のエラーメッセージを理解し対処できる。	
		5週	簡単な整数の四則演算と画面出力 その1		整数の四則演算と、その結果を表示できる。	
		6週	簡単な整数の四則演算と画面出力 その2		整数の四則演算と、その結果を表示できる。	
		7週	変数と定数 その1		変数宣言、変数と定数の違いが理解できる。	
		8週	変数と定数 その2		変数宣言、変数と定数の違いが理解できる。	
	2ndQ	9週	キーボード入力		キーボードから整数を入力できる。	
		10週	入出力を含むプログラム		入力・計算・結果の出力の流れを理解できる。	
		11週	整数と実数 その1		整数と実数の違いが理解できる。	
		12週	実数の表示		実数計算結果を表示できる。	
		13週	整数と実数 その2		整数演算、実数演算、混合演算が理解できる。	
		14週	総合演習			
		15週	前期末試験			
		16週	試験答案返却・解説			
後期	3rdQ	1週	比較演算子と関係演算子		比較演算子と関係演算子が理解できる。	
		2週	条件分岐 その1		if文の基本が理解できる。	
		3週	条件分岐 その2		条件と扱いが理解できる。	
		4週	条件分岐 その3		if else文が理解できる。	
		5週	条件分岐 その4		論理演算が理解できる。	
		6週	条件分岐 その5		ブロックが理解できる。	
		7週	繰り返し その1		do文が理解できる。	
		8週	繰り返し その2		while文が理解できる。	
	4thQ	9週	繰り返し その3		for文が理解できる。	
		10週	繰り返し その4		繰り返しに用いる最適な文が選択できる。	
		11週	構造化プログラミング その1		繰り返しの中に条件分岐の文が書ける。	
		12週	構造化プログラミング その2		条件分岐の中に繰り返しの文が書ける。	

		13週	構造化プログラミング　その3			繰り返しと条件分岐を必要に応じて組み合わせる文が書ける。	
		14週	総合演習				
		15週	学年末試験				
		16週	試験答案返却・解説				
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	35	0	15	100
基礎的能力	25	0	0	15	0	0	40
専門的能力	25	0	0	15	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	5	0	15	20